



# 留学生就活体験談 2021

## 投稿者

氏名: LYU JINRAN  
国籍: 中国  
所属: 総合学術研究科  
情報マネジメント専攻  
日本滞在期間:  
6年(本学修了時)  
日本語能力レベル:  
日本語能力試験 N1

## 内定先

株式会社大阪クリップ

## 内定先の業務内容と 担当業務

株式会社大阪クリップは文具・事務用品の企画・開発・製造・販売をする会社で、担当業務は商品調達と生産管理です。

## 日本で就職しようと思った理由は？

理由は二つあります。1つは、日本製造業におけるレベルが高い生産技術を身につけたいと思ったこと、もう1つは、大学生活を切り替え、社会人として日本で生活・働き・学習をしたいと思ったことです。

## 勤務先を選んだ理由は？

社風に共感し、魅力的な企業だと感じました。自分は簿記の知識を有し、大学院で管理会計を専攻したので、それを活かして経理や生産管理の仕事をやりたいと思いました。また、留学生を積極的に受け入れる企業であるということも理由の一つです。

## 就職活動の際の応募企業数は？

私の場合は、業界と業種を絞り企業に応募したので、5社しか応募していませんでした。もちろん、就職できないリスクも高いですが、留学生向けの合同説明会に2回(中国地域と全国レベル)参加し、その中の5社は自分に合うと考え、エントリーシートを提出しました。4社の書類選考に合格し、一次、二次面接に入り、その内2社から内定を貰いました。

## 面接でよく聞かれた質問は？

留学生ですから、日本にきた理由はよく聞かれます。当時の自分は日本語能力試験N1に合格していなかったため、日本語の勉強に関する質問も聞かれました。また、志望動機、自分の長所と短所、キャリアプラン、やりがいがあると思うことなどの質問をよく聞かれました。

## 効果的だった就職活動対策は？

留学生向けの合同説明会が少ないので、キャリアセンターやインターネットを活用すれば、留学生合同説明会の情報を多く収集することができます。特に留学生の場合に、正しい日本語を使うのが簡単ではないので、キャリアセンターの方や先生のを借りて、エントリーシートと履歴書の完成および面接の練習が十分にできると思います。

## 後輩へのアドバイス

私の経験から言うと、より多い企業に応募するなら、母国語(中国語)と日本語力だけでは足りず、高い英語力も必要であると思います。そして、自己分析をしっかりと行い、やりたいことと隠れている能力を掘り出すことは重要であると思います。また、なるべく早く計画を作り、準備することが大事です。